

# サテライト大学院

タウンマネジメント研究グループ代表者 岡田 秀文（地域マネジメント研究科1年）

（消費者の視点から見た商品特性 地域マネジメント研究科長 関義雄講義風景  
平成21年9月3日 丸亀市本町一丁目1番 スペース114にて）



## 1. 目的と概要

このプロジェクトが成立する要件として、貧富の差が生じるような2極化構造がある。なかなか信じられないようなことが現実になっている（※[貧困白書](#)）。こんな中での状況を踏まえた話であることを認識しておきたい。

---

参照「※立教大学教授 湯澤直美

2010年01月27日（水）**視点・論点 「子どもの貧困白書から」**

---

■本日のテーマは、「子どもの貧困」です。まず、ある国の子ども達の状況を示す数字をご紹介します。その国では、14.2%、およそ7人に1人の子どもが「貧困」という状態のなかで暮らしています。また、そのうち、ひとり親家庭をとりあげてみると54.3%、つまり、2人に1人以上の子どもたちが貧困に該当する状況で暮らしています。その国とは、私たちが生きているこの日本のことです。この相対的貧困率を示す数字は、昨年10月と11月に政府が初めて公表したものです。7人に1人、つまり約300万人の18歳未満の子ども達が貧困にさらされていることが公的に確認されたのです。

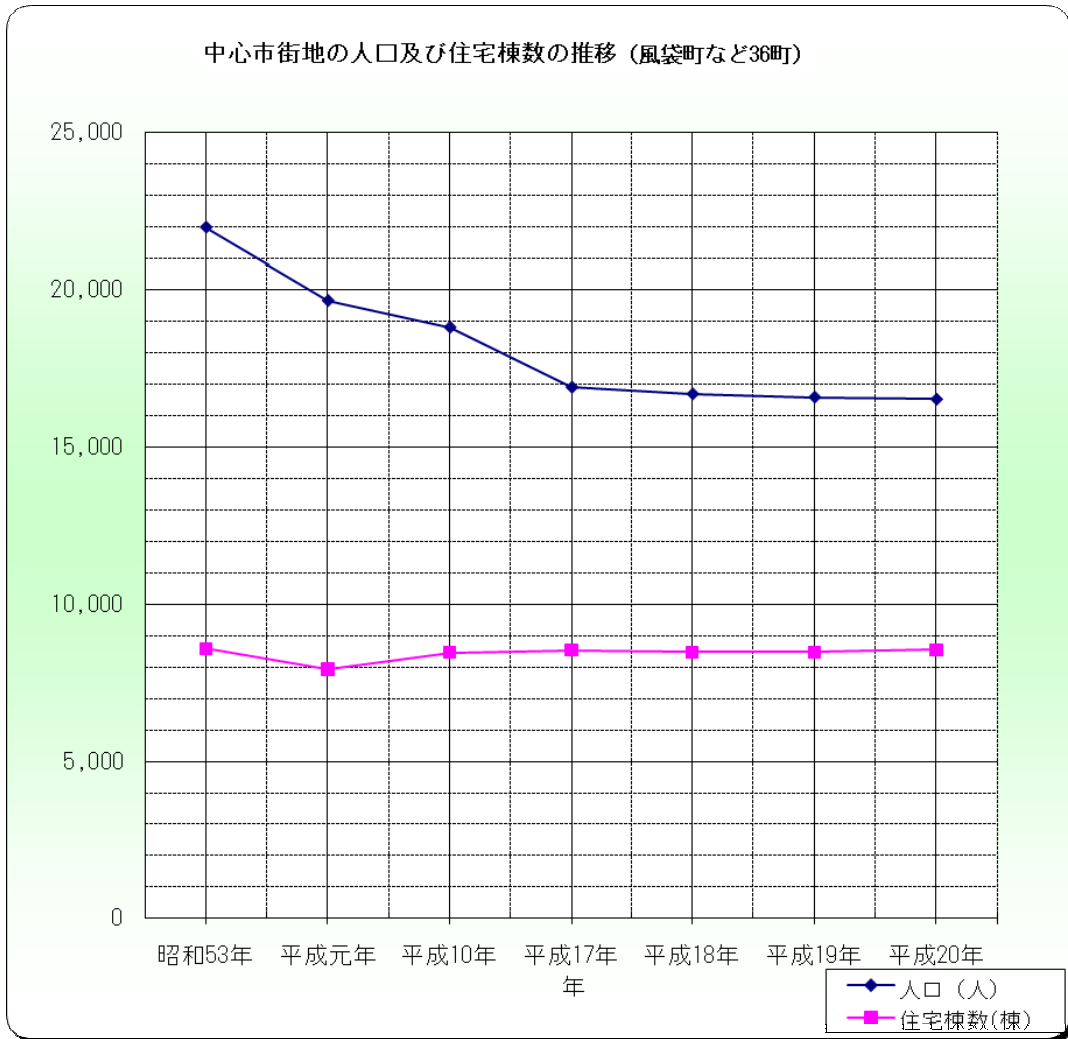
■長らく、この国では、貧困は放置され、「貧困を解決する政策」が軽視されてきました。その結果、何が起きているのでしょうか。同じく昨年末に公表された社会保障実態調査では、「過去1年間に経済的理由で家族が必要とする食事が買えなかった経験をもつ」世帯が、ふたり親世帯では17.8%、ひとり親世帯では38.4%にも及びました。」

このプロジェクト事業では、商店街での、弱みとしては、後継者が不足して、かつ、少子高齢化社会での縮小社会『※資料2参照』にあつて、商店街の維持は可能なのか、そして、つぎにくる役割は何であるのか。といったことがある。なかで、タウンマネジメントの脅威としては、郊外の大型スーパーなどがあり、また、郊外のみならず、近隣の県外の商業地域についても、ライバル関係にあということが予想されていた。

※

中心市街地の人口及び住宅棟数の推移（風袋町など36町）

	昭和53年	平成元年	平成10年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年
人口（人）	21,961	19,665	18,818	16,909	16,699	16,595	16,530
住宅棟数（棟）	8,595	7,942	8,470	8,541	8,478	8,481	8,549



◆備考

【人口】30年間で▲5,400人の人口減(▲24.7%)：直近10年間で▲2,088人の人口減(▲11.2%)

【住宅棟数】30年間で▲0.5%：直近10年間で+0.9%(棟数に大きな変化は見られない)

そういったなかにあつて、どのようなタウンマネジメントが可能であるのかを検討していく機会をもうけることであつた。

すなわち、地域にいる数多くの関係者に対して、さまざまな観点から、アプローチを試み、地域の関係者の人材資源(資産)の活性化に資する目的のもとに行つた。

この実行のために、広告宣伝に関する部分をチャレンジプロジェクトに依頼した。チラシ作製費5万円と、ホームページ作成費5万円である。とくにホームページでは、各教官の講義風景をユーチューブ(インターネットでのビデオ配信を行い、サテライト大学院のみならず、地域マネジメント研究科のピアールになつた。

ここで、サテライト大学院についての、広告戦略について述べたい。

まず、このチャレンジプロジェクトは、新鮮な試みであることを強調し、NHKとその他の新聞に投げ込み発表をし、その取材を依頼した。このことによって、多くの人に周知できたと考えている。(新聞2社、四国、朝日)

また、周知ようには、ポスター作成を、商工観光課に協力依頼することで、40枚程度のポスターを無料で作成することができた。

ホームページについては、ポスターと共同して、サテライト大学院のPRを中心におこなつたが、意外にストリーミングをよく見ているのがわかつた。

## 2. 実施期間(実施日)

平成21年8月15日から、平成22年1月15日まで。

計6日にわたる講義(2コマづつ)と、その反省・交流会であつた。

## 3. 成果の内容及びその分析・評価等

①このプロジェクトのテーマは、商店街のマネジメントということであつたが、さまざま意見聞いていくうちに、単に、従来からの※中央商店街の活性化では、客が集まらないことが共通の認識のようになって来た。

## ◆町別人口

	町名	昭和53年	平成元年	平成10年	平成20年
1	風袋町	807	549	503	425
2	瓦町	398	324	254	229
3	葭町	295	226	196	150
4	米屋町	148	81	66	49
5	松屋町	47	40	27	8
6	魚屋町	95	63	60	88
7	宗古町	48	24	43	62
8	富士見町	1,049	1,055	1,070	974
9	土居町	2,164	1,840	1,715	1,532
10	城東町	1,903	2,243	2,185	1,711
11	御供所町	1,652	1,404	1,140	859
12	北平山町	1,141	717	637	629
13	富屋町	483	167	104	73
14	浜町	369	168	137	226
15	本町	361	245	191	131
16	塩飽町	144	92	45	18
17	一番丁	106	7	0	0
18	二番丁	284			
19	六番丁	171	162	124	105
20	七番丁	141	112	88	153
21	八番丁	133	109	104	77
22	九番丁	463	363	335	264
23	十番丁	353	281	266	240
24	城南町	593	552	476	379
25	城西町	544	494	442	408
26	中府町	2,109	2,356	2,465	2,227
27	大手町	62	371	354	353
28	西平山町	1,005	695	691	537
29	港町	104	84	60	35

30	通町	490	399	256	223
31	福島町	853	651	623	562
32	新町	182	106	65	70
33	南条町	332	239	163	151
34	西本町	905	960	989	825
35	幸町	570	612	532	448
36	山北町	1,457	1,874	2,212	2,309
	合計	21,961	19,665	18,618	16,530
	総人口	67,812	75,390	79,856	110,667
	(割合)	32%	26%	23%	15%

そのため、講師を担当した人たちにも、単に商店街の問題というのとどまらず、もう少し広い意味での中央商店街を包括するところの中心市街地の活性化についてもコメントをいただくようにした。

②このプロジェクトにより、中心商店街の活性化に興味をもった人に対して、つまり、丸亀市関係の人的資源（資産）に、まず活性化が計られ、かつ、交流の機会が計られたことである。まちづくりは、人づくりのいう常套句があるが、まさにそれを実感した。また、さまざまな人からさまざまな意見をいただいたが、それぞれ、大変すばらしいと感じた。

#### 4. 中心市街地（中心商店街を含む）についての分析について

これについては、swotクロス分析（strength強み・weakness弱み・opportunity機会・threat脅威）を行い、なにが、現実には、大切なのかを浮かび上がらせるようにしたい。（別添SWOTクロス分析および、下記クロス分析）

まず、強み（8）については、中心市街地には、インフラ（水道・ガス、病院）などについては、最初から備わっているために、便利である。

また、多くの文化施設（美術館、図書館、お城）などがあり、独特の文化を形成してきている。また、教育施設（丸亀高校）などがあり、生活の場としては、便利がよい。

また、機会（○）としては、うどんブーム、映画ブーム（うどん、まがれスプーン）などで、重要な景観の一つである（飯野山）、現在注目されつつある歴史のブーム（とくに飯野

山の飯神社（古事記にごく最初に登場する）などが四国にあり、空海の四国88カ所の遍路道を歩くブームを助長している。また、飯野山を中心とした、巨石文化の歴史ブームを受け止めてさらに助長。ゆったりとしゆっくりとしたスタンスで、心を洗濯にくるような88カ所めぐりの人たちと話をしていると逆にこちらが教えられ、癒されるようなこともあった。こういうブームは、交流人口を増やすことになる。その効果としては、（統計的には）、丸亀に泊らない観光客が落としていく、一日の金額は、数千円ということになっているようであり、そのうちいくらかを丸亀市に落としてかえていただくには、どのような特色のどのような企画や、設えが必要であるのか十分に考慮していく必要がある。

また、丸亀には、もっとも有名な施設の一つとして、金毘羅湊がある。これは、あくまで、可能性の問題ではあるが、海のブーム島のブームによって船を利用した観光、洋上セミナーも十分に検討の価値があると考えられる。

弱み（w）としては、競艇事業により線入になれた体質があり、市単独で事業をしようとする性向がある。そのために国の補助などに疎くなる傾向があり、ともすれば、国全体の動きに疎くなってしまいう傾向がある。

脅威（t）都市間競争が激しくなるなかでよりサービスで勝った自治体に人があつまり、そうでない自治体は寂れることになる。

## 5. 中心市街地が当面する課題のクロス分析について（s w o t クロス分析および資料2）

このプロジェクト事業は、縮小社会にあって、どのようにして、中心市街地のなかの中心商店街を活性化するかということであった。

（s × o）（強み × 機会）従来からある歴史施設などは、教育に十分活かせる。ボンボリウォークなど歴史に根付きはじめている行事をより一般化させ、多くの人を楽しめるような設えを検討する。

（t × s）（脅威 × 強み）インフラ整備をより促すためには、ターゲットとして若い若者が集まれるようなスペースの確保。

団塊の世代を誘導するためには、団塊の世代の人達用の交流スペース、趣味や研究のためのスペースを整備し、交流を図ろうとするのも一案であるそのための一つの実験といえなくもない。

（o × w）（機会 × 弱み）丸亀が、いま映画ブーム、歴史ブームの好影響を受けている。たとえば、坂本竜馬など、丸亀にも来ている。映画うどん。映画まがれスプーンで丸亀が少しだが舞台になっている。さらに「青きしまよりGO」では、丸亀の中心市街地の主要な部分、スペース114（サテライト大学院の会場）も舞台となっており、そしてさらに瀬戸内海の芸術祭の舞台になっている瀬戸内海もその舞台のうち主要な部分を占めている。

自分たちが文化を楽しむとともに、外からくる人に対しても十分におもてなしの心をもって接するスタンスで、多くの交流が可能になってくる。

(t × w) (脅威 × 弱み) より住みやすい場所に住もうとする。将来的に税金が増えること。極力限られた枠の中でのインフラの新設や維持を行うことで、コストを縮減できることを住民や、他の担当部門に十分にわかってもらえるような学習の位階を設ける。観光の交流も観光にかかわる以外をも活性化させるとにつながることもある。

## 6. 今後のサテライト大学院について (1)

さて、サテライト大学院については、平成21年8月15日から9月10日に渡り、6日にわたり、実施された。

のべ人数で、約250名が出席した。

また、中間の反省会については、22年1月15日にワールドカフェ形式で実施したが、35名の出席があった。

思った以上に多くの問い合わせや参加があったことは、主催者としては喜ばしく感じられた。

また、この反省会は、ワールドカフェ形式※で行い、5つのテーブルに分けて、意見交換やまとめを行った。それによると

○島、瀬戸内海が今年のキーワードになるため、牛島を使うこと。ディズニークルーズを参考にして、瀬戸内海クルーズに活用する。

○お接待大会をする。

○うどん、うちわを海外発信する。

○金毘羅街道の再定義をする。

○街歩きコースを設定する。

○スポーツの町 (陸上競技場、

○2010年は咸臨丸150周年 (塩飽水夫、本島、広島ゆかりの人たちが咸臨丸の乗組員になった)

○駅の近くにデイ・ケアセンターが欲しい。

○映画きなの活用

○NHKに働きかけて、宮部みゆき『孤宿の人』鳥居 耀蔵のドラマ化 (民放では、の北町奉行の遠山の金さんのみ有名で、それに対して鳥居 耀蔵は、今一つ、イメージが明るくないが、実は人間味ある人、そのギャップを表現して、意外性を強調することができ、文化都市まるがめにふさわしい雰囲気を出し出す。

○坂本竜馬にゆかりの地がいくつかあり、それを発掘してみんなに知らしめる。

○丸亀のことを知らないひとが数多くいる。

○マラソン祭りなどのイベントを活用する。



などがあった。

貴重な意見（意外性や、普通では見逃すことでなど）を述べていただいたと感じ非常に感謝した。コンパクトシティを実現しながら、中心市街地の活性化を達成するための戦略を考えた。（※戦略ワークシート）

目標（ビジョン）	コンパクトシティの実現により、将来にわたる財政支出を削減する
----------	--------------------------------

戦略	1、市民が参画したなかで、考える場を確保する（ワークショップ=※ワールドカフェ）
	2、専門家の意見も聴く機会を、公の場でも設ける（シンポジウム）
	3、多くの市民の意向を探る（アンケート）
	4、コミュニティの意見を尊重する
	5、市外からの力を大切に（観光も含め、経済的なつながりなども含めて）。（〇〇サミット。）
	6、街歩きを積極的に活用する
	7、専門家に分析を依頼する

※ワールドカフェ＝知識や知恵は、機能的な会議室のなかで余れるのではなくて、人々がオープンな会話をできる空間でこそ発想することができるという考え方から生まれたワークショップ

制約条件	建築可能箇所、賃貸可能箇所	
	都市計画法による容積率等	用途地域の制限
	開発の制限	用水
	建築基準法による制限	接道
	消防法による制限	防火地域、準防火地域
	景観法による制限	高さ制限など
	国籍	外国人
	年齢	高齢化
	就職の場	
	駐車場の有無	駐車場附置義務
	荷物の積み下ろしなどスペース	サイバー店舗など波に乗って、繁盛したとき。
	時間的制約	商店街の閉店時間が早い
	人の減少による治安の悪さ	街あるきによるにぎわいの創出
	施設の老朽化	補修費
資金の不足	市民資金	

資源ツール	協力者	住民、※限界住民、商店街の店主・従業員、TMO
	図書館	飯山町にもある。
	美術館	現代美術に限定されている。
	JR駅	公共交通
	高速バス乗り場	丸亀からの便も増やす
	港	船宿、金毘羅港ゆかりの太助燈籠
	港ミュージアム	うちわのミュージアム
	島	本島、牛島、広島【咸臨丸の乗組員の墓】、手島
	瀬戸内海	多島美。
	映画	青き島よりGO, うどん
	飯野山、青の山	曲がれスプーン、巨石文化、古事記
	クルーズ	フェリーのダブつき
	金毘羅街道	鳥居耀三、田宮ぼうたろう
	へんろ路	空海、おもてなし
	資料館	丸亀城からみの古文書
二宮忠八	飛行機にゆかりの地、企業とのコラボレーション	
城	日本一の石垣、扇の勾配、	

※丸亀市または、近隣の境界付近で住もうとしている人

入力	プロジェクトチーム	金毘羅街道チーム、その他利害チーム
	専門家	アンケート分析、多変量解析
	市民、限界市民	交流の場

出力	人口増	限界住民、域外から住みやすさを求めて
	予算の実質削減	インフラ維持費の削減
	住民の利便	買物、病院、

問題点	都市間競争	宇多津、善通寺、坂出、多度津
	民主党政権による変更	事業の継続性が切れる、どれだけ文化歴史に貢献するか
	各種の利害関係団体	社会福祉法人、賃貸人、賃借人

また、サテライト大学院の実施について、顧問役をしてくださり、ご意見をいただいとことのある板倉教授（地域マネジメント研究科副科長）の一つの発想として、インターネットを使った、遠隔授業も、いいかもしれないというご意見もあった。たしかに、夜学と週末学校を兼ねたようなビジネススクールに丸亀などの遠隔地から通学するのは、始まりが6時20分という時間であるので、非常に、慌ただしく、また、時間調整が困難を窮めることがある。こんなときには、遠隔地で受けることが出来ればそれに越したことはないだろうと考えたりしたものである。ビジネススクールの中讃の拠点として、たとえば、丸亀市の商店街の一角に香川大学の一つの学びの拠点を設けることは、高松の商店街にミッドプラザがあるように、丸亀の質を高め、文化都市丸亀の地位をいま一つ向上させる契機ともなり、非常に歓迎すべきだと考えることが可能だと感じた。

また、サテライト大学院の目指すべきことの一つとして、単位を他の大学でも使える形にするにはどうかということもあった。ただ、これは、文部科学省などの認定などの問題もあるし、他の大学との協定の問題もあるようであり、今後の検討の一つにしたい。

サテライト大学院のサブタイトルにお城から見えるビジネススクールとポスターに掲げましたが、日本一美しいともされる石垣を持つ丸亀城の近くに学びの拠点の一つを設けることばすばらしいと感じます。（丸亀版ミッドプラザができないか？）と考えました。

## 7. 今後のサテライト大学院について（2）

最終形としては、シンポジウムの形式で実施したいと考えている。

まだ、単独で行うか、なにかのイベントなどの一部で行うかは未定ではある。

22年度は瀬戸内芸術祭が行われる予定になっているが、ここでは、瀬戸内海の島が脚光を浴びることになる。

また、歴史ブームでは、坂本竜馬がその真只中にあるが、丸亀市へも竜馬がやってきたという記録がある。海援隊と塩飽は深いつながりがあり、また、勝海舟つながりの咸臨丸の乗務員は、塩飽水夫が数多くいたとされる。その意味では、丸亀と坂本竜馬は深い繋がりがある。

そんななかで、最終のシンポジウムは、洋上セミナーが最適であると考えてはいます。しかも、シンポジウムに合わせて、丸亀を舞台にしている青き島よりGOなどは、洋上でのシンポジウムの一つの題材にもなると考えています。また、同時に地域マネジメント研究科の学生が準主役になっているこの映画を全国発信することは、香川大学の全国へのPRの一つになると考えています。

さて、そんな中で、他の研修の中で、2つの財団法人の知己を得ることができた。サテライト大学院に対する補助や、何かの拠点づくりの若干のハードの整備などに補助がとりつけられたら最高だと考えている。

## アンケート集計

問い：中心商店街についてどのように感じましたか。改善のご提案はなにかございますか。（アンケート集計）

★周りのSC、スーパーの絶対数が減らない限り、商店街の再生はあり得ない。

★駅から近く、学生や社会人が通りやすいと言うメリットがあるが、若者受けの店はなく、よくて昼飯を食べる場所というイメージとなる。

半分の店は閉じていて、元気も感じられない。

たくさんの理由はあるかもしれないが、結局のところ、商店街を活性化するには、商店街に住む人が活性化していないとムリです。

職員として市も動くべきだとも思うでしょうが、主役は商店街に住む人です。土地利用権や高度化資金を学んでみるのもいいと思います。

そのためにも、今回のように学ぶ場をもっと増やすべきだと思います。

★丸亀在住でない為、商店街へは十数年振りに足を踏み入れたが、予想以上に活気が感じられず、最近の駐車場を備えた大型店舗に

顧客をもっていかれている現状を、ここでも強く感じました。

★活気がない。高齢化、自助努力が見えない。

★どこの商店街も頑張ろうという行動気持ちは感じられない。

★そもそも“商店街”とは、←を聞きかかったです。コミュニティが無いのであれば、商店街では無い。

★全体的に暗い感じがする。活気が見られない。閉店も多く、アーケードを歩こうと思わない。

★駐車場も無く、市街地にある大手スーパーなどに行けば一ヶ所で全てが揃うので、商店街は不利である。

★中の人々が改善できない状況にある。行政による強制移転・共同ビル。

大宮駅前・溝の口駅前（今後30年でできる様、少しずつ進める。）強制力があって、極端な私権を制限しないと、死の街の状態。必要なのは

死の街からの脱却。元の商店街のを再生する必要はない。既にドーナツ状に四核ある。

★人が居なさすぎ。

★建設的に解決するのが必要ですが、非建設的な意見として、「良い時代を知っている店主は何もしたくない。」

店主・地主は権利を手放さない。現状のショッピングセンターで満足。別なものを造る必要。←利益を受けるのが、店主だけ

と考えており、信用していない。

当事者に意欲が無い、又、別の思惑を持つ個人・業者（外部）がいると、まとまらない。100軒のうち、5～6軒賛同では困難。

丸亀の今の現状はどの程度か。香川県では個人事業主は商工会議所に金だけを望むのか。

市民は店主に寄付しません。強いリーダーが不在なのではないか。

★ある物の見つめなおし。

★寂しいですね。何とかしなくちゃ。こういう試みはいいですね。

★午後6時頃歩いて殆ど閉店しているのでさびしく感じました。イオンやゆめタウンにはない、価値観のある店があったらいいの  
と思います。無料駐車場があればいいと思います。

(夜カフェ、雑貨店、スターバックス、ホットモットとかではない、手作りのお弁当屋さん。うどんもある。)

★店舗ごとではなく、全体で考えないときびしいと思った。

★市外の者でよくわかりませんが、朝・昼・夕の人通りはいかがでしょうか。人通りを多くする方策…難しいですね。

★駐車場の利用拡大

## 8. この事業が本学および地域社会に与えた影響

このプロジェクトを実施したことにより、かつて、大学および大学院にほとんど縁のな  
かった人たちに対して、数多くの疑問の解消や、新たな問題点の発掘に役立ったと思われ  
る。

まず、商店主たちである。当初思ったほど来なかったが、受講科目は違うが、5人のひと  
が来た。他に、地元企業の人たちも数多く来た。

また、市の職員、その他関連団体の職員の人たちも聴きに来てくれた。  
かつて勉強した人たちにも改めて学習の機会を与えることができた。

## 9. 実施メンバー

代表者 岡田秀文（地域マネジメント研究科 1年）

構成員 大西正泰（ " " ）

梅木佳子（ " " ）

侯鵬奈（ " " ）

加藤太郎（ " " ）

片山将光（ " " ）

当初、代表者を含めて11名でやろうとしていたが、都合6名で行った。

アンケートとしては、さまざまな意見があった。「上記にアンケート集計」を添付。

以下に、バックキャスティングビジョンの策定。

SOWTクロス分析を最後につけた。

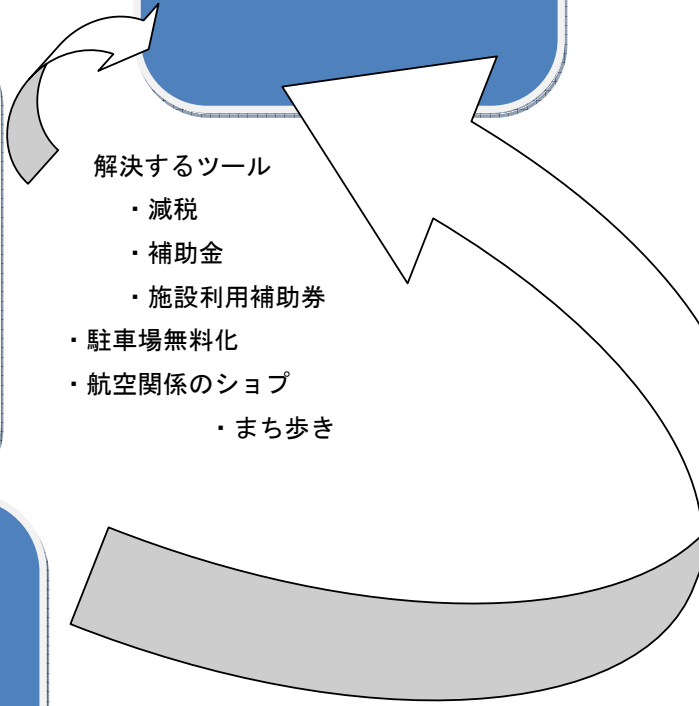
バックキャストによるあるべき姿

成  
熟  
度

マイナス  
郊外型大型店舗が林立している  
  
高齢化が進んでいる。

プラス  
観光ブームである。(うどん、88カ  
所、二宮忠八)  
  
内部的な盛り上がり。  
(金比羅街道・歴史の活用)

あるべき姿  
お年寄りの知恵と若者の元気  
さが共存する街。  
歴史・文化の香りのする丸亀ブ  
ランドに会える街。

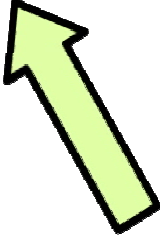
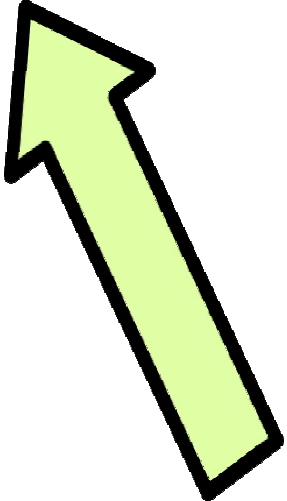


解決するツール

- ・ 減税
- ・ 補助金
- ・ 施設利用補助券
- ・ 駐車場無料化
- ・ 航空関係のショプ
- ・ まち歩き

時間の経過

SWOT クロス分析

外部要因 内部要因	機会	脅威
<b>強み</b> 金比羅街道 美しい島 琴平湊 城を中心とした景観 美	88カ所世界遺産への動き うどん 二宮忠八（世界初の飛行機実用考案者） 映画ブーム（うどん・青き島よりGO・スプーンよ 曲がれ） 	郊外型の大型店 地域競争の激化
<b>弱み</b> 高齢化 少子化		※ ブランド力をつける 良質のもののお買い得の日を設ける。 お年寄りにブランドを買ってもらう。⇒安売りの店に対抗 まち歩き⇒ お年寄りもまちに出だしこどもの安全を守る⇒元気になり ⇒福祉・医療の軽減